

住宅性能に対する居住者の意識に関する研究 —その7 全国7地域における意識の比較—

準会員 ○中嶋三知代*1
正会員 野沢 亜子*2
正会員 久木 章江*3

住宅性能 性能表示 居住者
重視度合 意識調査 地域性

§ 1 はじめに

全国7地域に対するアンケート調査の概要と回答者の属性について報告した前報に引き続き、本報では、各地域の住宅に対する意識の分析結果を報告する。

§ 2 自然災害に対する意識

自分の住んでいる住宅に対して心配に思う災害を質問した結果を図1に示す。

北海道・札幌市近郊と新潟県・長岡市近郊の結果はほぼ同じで「地震」という回答が多く、60%を超えた。また「火災」の回答も比較的多く、新潟県・長岡市近郊では40%を超えている。なお、「積雪」は災害としての認識は少ないことがわかった。宮城県・仙台市近郊では大部分の回答者が「地震」と回答し、近年の地震被害の影響

があるものと考えられる。また「火災」も50%近い回答を得た。兵庫県・神戸市近郊では「地震」が50%を超え、「火災」も40%を超えている。長崎県・長崎市近郊と福岡県・福岡市近郊ではほぼ同様の回答で、福岡県・福岡市近郊の方が「水害」という回答が多く特徴的であった。

さらに、「自然災害で住宅が駄目になってしまったら仕方がないと思うか」質問した結果を図2に示す。

「仕方がないと思う」という回答が最も多かった地域は新潟県・長岡市近郊で約60%となり、他の地域では50%以上が「そう思わない」と回答したが、その割合は、宮城県・仙台市近郊が70%と最も多い結果であった。

§ 3 各種災害に対する安全性の期待レベル

次に、「地震」「台風」「積雪」「火災」「劣化」「防犯」「洪水」「津波」に対して、東京での安全性や耐久性を1とした場合、自分の住んでいる住宅には何倍の安全性や耐久性を期待しているかについて質問した。平均値の一覧表を表1に、結果の一部(地震の場合)を図3に示す。

北海道・札幌市近郊では、「積雪に対する安全性」以外の項目は全て東京と同じ倍率となっている。

宮城県・仙台市近郊では「地震安全性」「劣化耐久性」「積雪安全性」は東京よりも高い安全性を期待している居住者が多くみられることがわかった。

宮城県・仙台市近郊では「地震安全性」「劣化耐久性」「積雪安全性」は東京よりも高い安全性を期待している居住者が多くみられることがわかった。

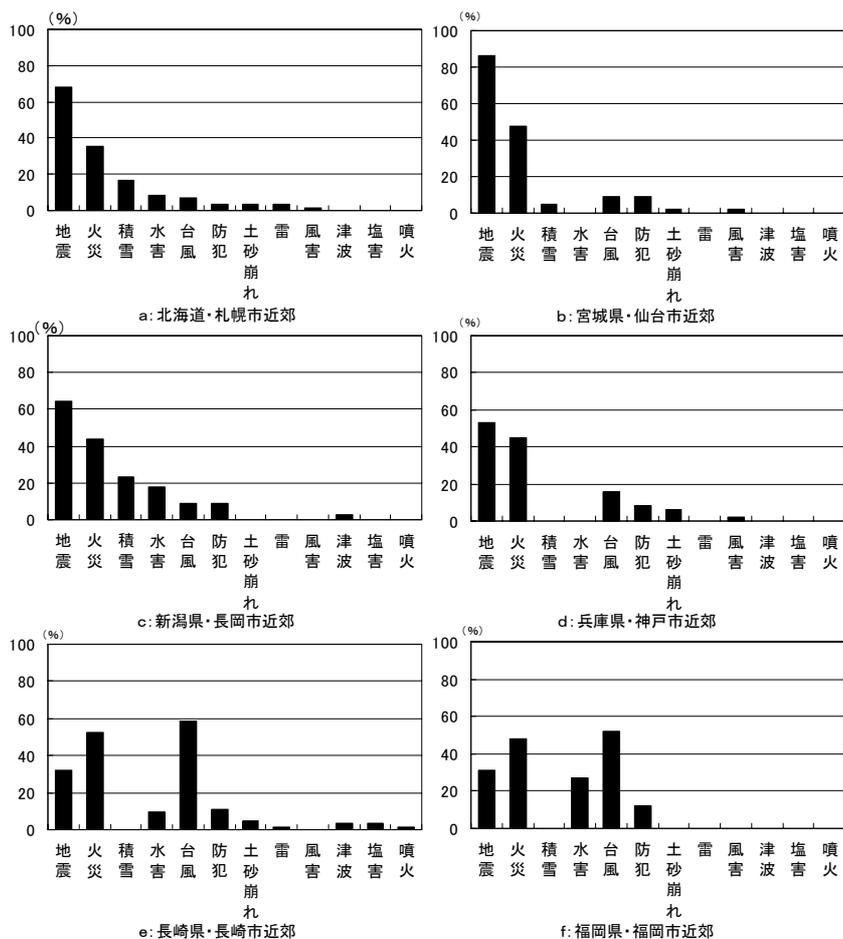


図1 自分の住宅に対して心配に思う災害

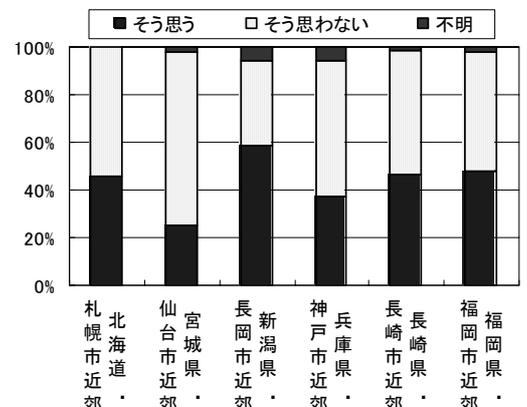


図2 問：自然災害で住宅が駄目になってしまったら仕方がないと思う

表1 住宅に期待する性能レベルの平均値（東京を1とした場合）

	地震安全性	台風安全性	積雪安全性	火災安全性	劣化耐久性	防犯安全性	洪水安全性	津波安全性
東京近郊	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
北海道・札幌市近郊	1.12	0.95	1.62	1.09	1.05	1.09	0.99	0.88
宮城県・仙台市近郊	1.38	1.04	1.34	1.09	1.28	1.09	0.97	0.91
新潟県・長岡市近郊	0.99	1.01	1.91	1.02	1.07	0.93	1.03	0.86
兵庫県・神戸市近郊	1.44	1.11	0.86	1.18	1.19	1.34	0.86	0.85
福岡県・福岡市近郊	1.09	1.19	0.84	1.09	1.08	1.10	1.05	0.83
長崎県・長崎市近郊	1.00	1.14	0.71	0.99	1.02	1.06	0.94	0.93

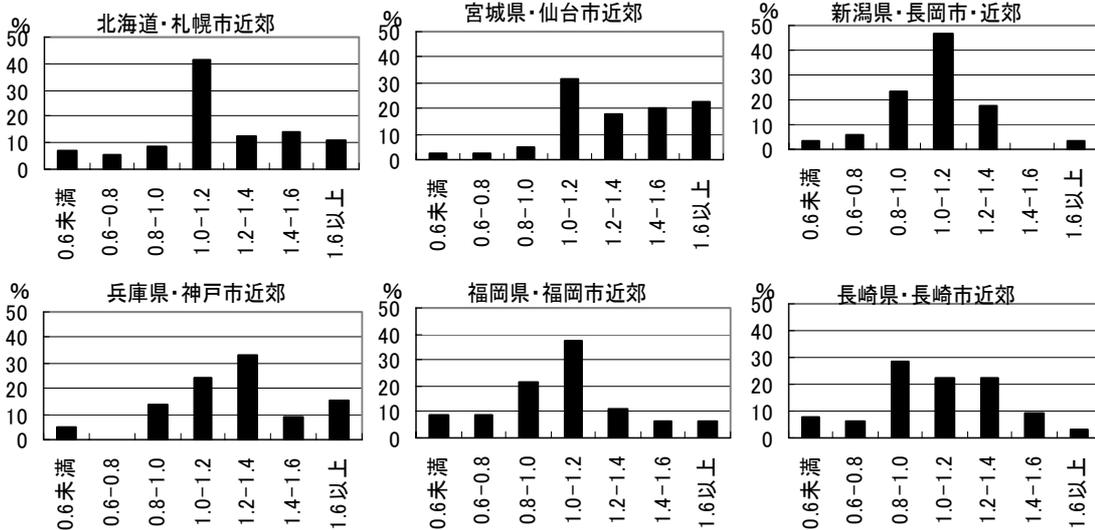


図3 東京を1とした場合の住宅に期待する安全性レベル（地震安全性の場合）

新潟県・長岡市近郊では、全体的に東京と同じ程度の回答が大部分を占めているが、「積雪安全性」は7地域の中でも最も高いレベルが期待されており、平均値でも約2倍程度である。一方、「防犯安全性」と「津波安全性」では東京より低くても良いと考えている居住者が比較的多い結果であった。

兵庫県・神戸市近郊の結果を見ると、「地震安全性」は「1.1~1.5倍」の回答が多く、平均値も7地域の中で一番高い結果であった。「積雪安全性」「洪水安全性」「津波安全性」は東京よりも低くても良いと考える傾向にある。また「火災安全性」「劣化耐久性」「台風安全性」「防犯安全性」なども全体的に東京より高い安全性・耐久性を期待している結果であった。

福岡県・福岡市近郊では「劣化耐久性」と「火災安全性」は東京と同レベルと考える居住者が大部分である。「地震安全性」「防犯安全性」「洪水安全性」は意見が分かれ、「地震安全性」は若干東京よりも低くても良いと考えている居住者も比較的多い。また、「台風安全性」はほとんどの居住者が東京より高い安全性を期待している。逆に「積雪安全性」と「津波安全性」のレベルはほとんどの居住者が低くても良いと考えており、「0」でも良いと考えている居住者もみられた。

長崎県・長崎市近郊では「台風安全性」で東京よりやや高めレベルを期待している。また「洪水安全性」と「津波安全性」は意見が分かれ、居住地域が川の近くや海岸沿いか否かといった状況に影響されたものと考えられる。「積雪安全性」は「0.5倍以下」の回答が最も多く、あまり期待していないこともわかる。

§4 コストに対する意識

次に、コストに対する意識調査として、「住宅購入時のコストよりも建物の維持や修繕のための費用の方が重要だと思うかどうか」について質問した。結果を図4に示す。

「住宅購入時のコストよりも建物の維持や修繕のための費用の方が重要だと思うかどうか」について質問した。結果を図4に示す。

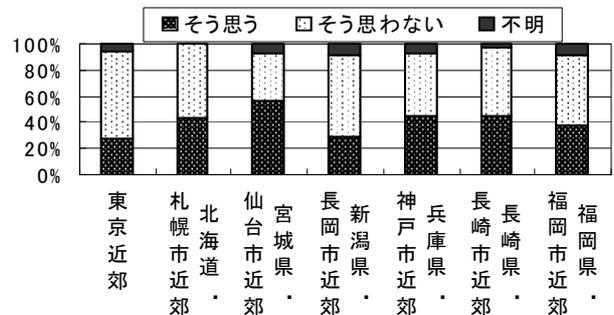


図4 問：住宅購入時のコストよりも建物の維持や修繕の費用の方が重要である

「住宅購入時のコストよりも建物の維持や修繕のための費用の方が重要である」という回答が最も多かった地域は宮城県・仙台市近郊で、50%を超えている。逆に最も少なかった地域は東京近郊で30%程度であった。

§5 おわりに

本報では、居住者の住宅に対する意識について、地域性による違いに関する結果を報告した。次報では、住宅選定時に重視する住宅性能を、地域性といった観点から分析し、重視する性能の違いについての結果をまとめる。

*1 文化女子大学 住環境学科 学生
 *2 元文化女子大学 大学院生 修士（生活環境学）
 *3 文化女子大学 住環境学科 助教授・博士（学術）

*1 Student, Dept. of Dwelling Environment, Bunka Women's Univ.
 *2 Graduate student, Dept. of Dwelling Environment, Bunka Women's Univ., M.L.E.
 *3 Assoc. Prof., Dept. of Dwelling Environment, Bunka Women's Univ., ph. D